

脈絡膜悪性黒色腫に対して重粒子線(炭素イオン線)治療を受けた皆様へ

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂く必要があります。

量子科学技術研究開発機構QST病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

- 【研究課題名】 脈絡膜悪性黒色腫に対する炭素イオン線治療とサイバーナイフ®を用いた光子線治療の治療成績を確認する後向き研究
- 【研究実施期間】 許可日～2026年03月31日
- 【研究機関】 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院
(病院長石川 仁)
- 【研究責任者】 若月 優
- 【研究の目的】 この研究の目的は、脈絡膜悪性黒色腫に対してQST病院において重粒子線治療を受けられた方と、延世大学セブランス病院（大韓民国）においてサイバーナイフを用いた定位照射による光子線治療を受けられた方の治療の効果や安全性について調査することです。
- 【共同研究機関】 大韓民国 延世大学セブランス病院
(General Director : Jong-Won Ha)
- 【研究代表者】 Kyung Hwan Kim
- 【研究の方法】

●対象となる患者さん

脈絡膜悪性黒色腫の患者さんで、1992年4月から2021年10月までに重粒子線治療のために入院及び通院された方

●利用する診療情報

2023年12月までに得られ診断名、年齢、性別、臨床情報、検査結果、予後、副作用。

2023年12月までに得られたデータを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

●個人情報の取り扱い

患者さんの権利と安全を守り、データの信頼性を確保するために、専門家がカルテを確認することがあります。集計されたデータは他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工された上で大韓民国 延世大学セブランス病院の担当医師に提供されます。データの送付はインターネットを介してパスワードをかけて行い、延世大学セブランス病院の用意するセキュリティ付きデータベースに保管されます。データ解析は、延世大学セブランス病院の研究者が中心で行いますが、QST病院の研究者も携わります。研究成果は、誰の情報であるかがわからない状態で発表します。個人名などが表に出ることはありません。

(QST病院では個人情報保護法及び研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、共同研究機関においては当該国である大韓民国の「プライバシー法」という個人情報の保護に関する法律と「生命倫理安全法」という研究に関する法律が適用され、これに対応した機関内での規則等にも従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方(または代理の方)は、2024年3月31日までに下記窓口にお申し出ください。

この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。延世大学セブランス病院には2024年4月1日以降にデータ提供を行います。なお、上記の期間の後、データを解析して個人情報と切り離してしまった場合には取り除けないことがあります。その場合にも個人情報が表に出ることはありません。

[問い合わせ先：窓口]
千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
QST病院 若月優
電話：043-206-3306
平日：8：30 ～ 17：00

